

# RP-VERB



## ユーザーガイド



## 目次

[ エンベロープ/エフェクト ].....	3
Envelope (エンベロープ) .....	3
ノーマル・モード時のエンベロープ: .....	4
ラッチ・モード時のエンベロープ: .....	4
Ensemble (アンサンブル) .....	5
Distortion (ディストーション) .....	5
Equalizer (イコライザ) .....	5
[ Reverb (リバーブ) ].....	6
[ Reflections (リフレクション) ].....	7
Early reflections (アーリー・リフレクション) .....	7
Late reflections (レート・リフレクション) .....	7
[ プリセット/グローバル ] .....	8
Presets (プリセット) .....	8
Quick Browser (クイックブラウザ) .....	8
Bank (バンク) .....	8
edit / original (編集/オリジナル) .....	9
ECS.....	9
? (クイック・マニュアル) .....	9
Main Output controls (メイン・アウトプット・コントロール) .....	9
[ コントロール ].....	10
[ 登録・更新・サポート ].....	11

## [ エンベロープ / エフェクト ]

### Envelope (エンベロープ)

このエンベロープ・セクションによって、リバーブ信号レベルやその他リバーブ・パラメータをコントロールすることができます。



#### ENVELOPE

*audio control*

*space size*

*reverb length*

*size + length*

*size + length + audio*

*mono input*

*latch envelope*

*attack*

*hold*

*release*

*amount*

エンベロープ・セクションをオン/オフします。

エンベロープは、リバーブのボリュームをコントロールします。

エンベロープは、リバーブのサイズをコントロールします。

エンベロープは、リバーブの長さをコントロールします。

エンベロープは、リバーブのサイズと長さをコントロールします。

エンベロープは、リバーブのサイズ、長さ、ボリュームをコントロールします。

エンベロープへの入力をモノラルに変更します。

ステレオインプットの左右それぞれに等しくエンベロープの効果を掛けたい時に使用します（点灯時にモノラル入力、消灯時にステレオ入力です）

エンベロープはラッチされ、最大レベルに到達しインプット・ボリュームがゼロになるまでアマウントを維持し続けます。

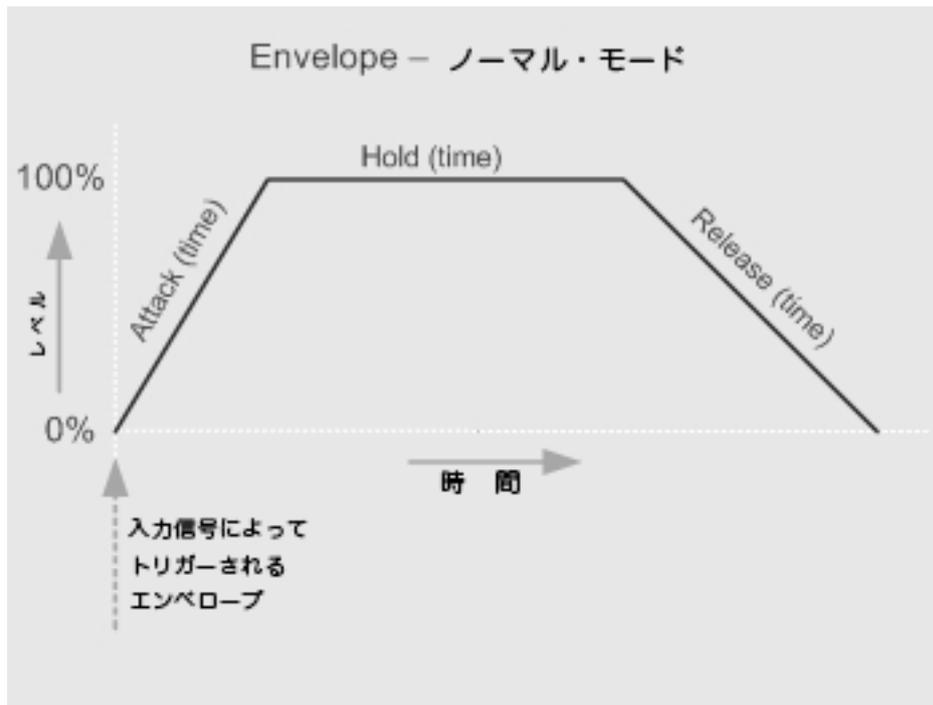
エンベロープ・アタック・タイムを調整します。エンベロープがトリガーされたときに、最大値に達する速度を調整します。

エンベロープが最大レベルにとどまる時間を決定します。ラッチ・モードでは、ホールド・タイムは無視されます。

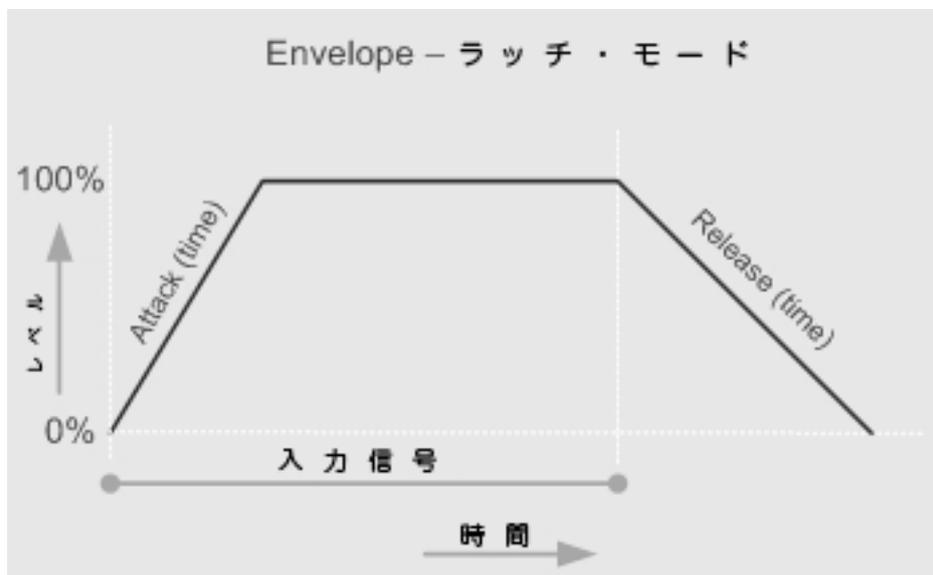
ラッチ・モード時でのリリース・タイムを調整します。ノーマル・モード時は、エンベロープはホールド期間が終了した後のリリース・タイムを調整します。

エンベロープがコントロールする、リバーブのサイズと長さのアマウントを全体的に調整します。

ノーマル・モード時のエンベロープ：



ラッチ・モード時のエンベロープ：



## Ensemble (アンサンブル)

アンサンブル・エフェクトは、サウンドに複雑なコーラスを加えます。ボーカル・トラックに効果的です。RP-Verbオーディオ・チェーンでは、Ensembleはセカンド・エフェクトとなります。



*volume*

*into reverb*

*direct + reverb*

Ensembleエフェクトをオン/オフします。

Ensembleエフェクトのアマウントを調整します。

アンサンブル・エフェクト信号をリバーブ・セクションに送ります。

アンサンブル・エフェクト信号をリバーブ・セクションと、ダイレクト・アウトの両方に出力します。



## Distortion (ディストーション)

チューブ・サチュレーション・ディストーションをシミュレーションするウェーブ・シェーパー・エフェクトを通して信号を送信することにより、ディストーション・サウンドを作ります。これはドラムに効果的で、「奇妙な」ディストートされたリバーブとルームを作り出します。



*amount*

ディストーション・セクションをオン/オフします。

ディストーションのアマウントを調整します。

## Equalizer (イコライザ)

RP-Verbには、独自の高品質内蔵3バンドEQが付いています。「**post audio**」のデフォルト設定はオフです。これは、インプット・サウンドが、Distortion (ディストーション)、Ensemble (アンサンブル)、Reverb (リバーブ)、Late Reflection (レート・リフレクション) などの他のセクションに入る前にEQ処理を行う、ということです。



*high*

*mid*

*low*

*post audio*

Equalizerをオン/オフします。

8kHz周辺の周波数を調整します。

4kHz周辺の周波数を調整します。

100Hz周辺の周波数を調整します。

オンの場合、各セクションの経過後にEQ処理が行われます。

## [ Reverb (リバーブ) ]

リバーブ・セクションは、RP-Verbの中核部です。リバーブ・セクションは、ある種のスペースやルーム・タイプなどのリバーブ音をサウンドに加えます。「**space type**」は、リバーブのキャラクターを設定するポップアップです。クラシックなホールから"Room Storm"のような特別なタイプまで、18種類のタイプから選択します。

### REVERB

*pre-delay*

*pre-delay disorder*

*space size*

*space disorder*

*reverb length*

*volume*

*low-pass*

*high-pass*

*damping*

*diffusion*

*space type*

*colour*

リバーブ・セクションをオン/オフします。

リバーブが作動し始める前のディレイ・タイムを設定します。

RP-Verb特有の特殊機能です。disorderを強くすると、pre-delayはリバーブ開始時に

別構造のリフレクションを構築します。ROOM系のスペース・タイプと組み合わせると効果的です。

使用しているスペースのサイズを設定します。選択しているスペース・タイプにより、アメントの効果が変わってきます。立方メートル (m3) または%単位で表示されます。

RP-Verb特有の特殊機能です。disorderを強くすると、スペースは形を変え、さまざまなタイプのサウンドを生じさせます。ROOM系のスペース・タイプと組み合わせると効果的です。

選択しているスペースの最大時間を設定します。最大値とは、リバーブの長さがルームのサイズと同じであることを意味しています。この値を減少すると、リバーブは短くなり、スペースは形を変えます。

リバーブ・サウンドのボリュームを調整します。

ローパス・フィルターのカットオフ周波数を調整します。

ハイパス・フィルターのカットオフ周波数を調整します。

カーペットやカーテンのような室内の柔らかい素材に影響される高周波帯を弱めます。

左右の広がり感を調整します。

スペース・タイプのアルゴリズムを選択します。

HALLはクラシックなホールスペースです。

ROOMはクラシックなルームサウンドです (エッジなサウンドを生成する事もできます)。

Vintageはボーカルとlong tail reverbに最適です。

SPACEは宇宙的サウンドを演出します。

カラーを選択できます。ここで選択されたカラーが、部屋のオブジェクトやサーフェス・タイプによるリフレクションを変更します。



# [ Reflections (リフレクション) ]

## Early reflections (アーリー・リフレクション)

アーリー・リフレクションは、特定のルーム・タイプとスペースでのハード・サーフェス・リフレクションによって生じる複雑なディレイのセットです。アーリー・リフレクションはリバーブ・パートが始まる前に聞こえるサウンドです。アーリー・リフレクションのボリューム、パターン、ポジショニングは、シミュレートされる、部屋の形状、リスナーの位置、部屋の壁と天井の表面材質に左右されます。



### EARLY REFLECTIONS

*volume*

アーリー・リフレクションをオン/オフします。

*direct*

アーリー・リフレクションのボリュームを調整します。

*into reverb*  
す。

アーリー・リフレクションは、リバーブに入らずに直接出力します。

アーリー・リフレクションはリバーブに送られま

*length*

この設定は一般的には使用されませんが、小さい部屋のシミュレーションでは有効な場合があります。

*damping*

アーリー・リフレクションのディレイ・タイム/長さを調整します。

アーリー・リフレクションの高周波帯を弱めます。カーペットやカーテンのような室内の柔らかい素材に影響される高周波帯を弱めます。

*feedback*

アーリー・リフレクションのフィードバック・レベルを調整します。

*side*

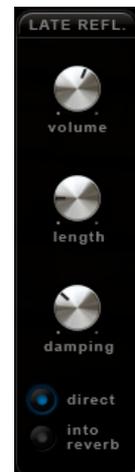
最初期の2つのディレイ間の、側面方向へのリフレクション・アメントを調整します。

*cross*

左右のディレイ間の交差するリフレクション・アメントを調整します。

## Late reflections (レート・リフレクション)

レート・リフレクションは、特定のスペースまたはルーム・タイプで聞かれる、より長いディレイ・リフレクションを加えます。レート・リフレクションが聞こえるかどうかは、リスナーのポジションにもよります。



### LATE REFL.

*volume*

レート・リフレクションをオン/オフします。

*direct*

レート・リフレクションのボリューム

*into reverb*

レート・リフレクションは、リバーブに入らずに直接出力します。

*length*

レート・リフレクションはリバーブエンジンに送られます。

レート・リフレクションのディレイ・タイム/長さをを調整します。

*damping*

レート・リフレクションの高周波帯を弱めます。

カーペットやカーテンのような室内の柔らかい素材に影響される高周波帯を弱めます。

## [ プリセット／グローバル ]

### Presets (プリセット)

プリセット・セクションでは、RP-Verbの全てのプリセット、バンク、外部コントロール設定値を管理します。RP-Verbには、お気に入りのRP-Verbプリセットの独自のセットを簡単に作成できるようにするQuick Browser (クイックブラウザ) 機能が含まれています。



プリセットを選択できるメニューをポップアップすることで、プリセットを選択します。「< >」をクリックすることでも、バンクのプリセットをブラウズすることができます。

また、プリセット・メニューには、Quick Browser (クイックブラウザ) 機能、Recently Browsed (最近のブラウズ) 機能、Favorites (お気に入り) 機能もあります。プリセット・メニューで、ロード／セーブ／リネーム／コピー／ペーストのコマンドを使って、プリセットとバンクを管理することができます。また、プリセットをデフォルト設定にクリアすることも可能です。

注記：プリセット編集後は、バンク全体の中にそのプリセットを保存する必要があります。オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けてバンクを保存するようにしてください。

### Quick Browser (クイックブラウザ)

<i>Quick Browse</i>	利用可能な全てのバンクとそのプリセットを表示します。 任意のプリセットをクリックすると、そのバンクとプリセットがロードされます。
<i>Recently Browsed</i>	最近使用した全てのプリセットを表示します。エントリをクリックすると、そのプリセットが再びロードされます。「Clear Recent」をクリックすると、全てのエントリが削除されます。
<i>Favorites</i>	お気に入りプリセットとして選択されたプリセットのリストを表示します。エントリをクリックするとそのプリセットがロードされます。「Add Current to Favorites」をクリックすることで、任意のプリセットを選択し、お気に入りのことができます。「Remove Current from Favorites」は、Favoritesリストから現在のプリセットを削除し、「Clear Favorites」は全てのエントリを削除します。 Favoritesリストは、コンピュータのハードディスクに記憶されているので、次にプラグインを使用するときにも、リストは記憶されています。

### Bank (バンク)

バンク画面をクリックしてバンクを選択します。  
また「< >」キーを使用して、バンクを順番にブラウズすることも可能です。

すべてのRP-Verbバンクは、コンピュータのRP-Verb/Banksフォルダにセーブされています。オリジナルのRP-Verbバンクも、このフォルダ内にセーブすることをお勧めします。

バンクをセーブ／ロードするには、本セクションのファイル機能を使用する必要があります。

注記：オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けてバンクを保存するようにしてください。

## edit / original (編集/オリジナル)

いったんプリセットを編集すると、edit / original ボタンが点灯します。  
もう一度edit / original ボタンをクリックすると、プリセットが元のオリジナル設定に戻ります。

再び edit / original ボタンをクリックすると、プリセットは編集済みのバージョンに戻りますので、オリジナル・プリセットと編集済みプリセットを切り替えながら、加えた変更の違いを聞くことができます。

注記：プリセット編集後は、バンク全体の中にそのプリセットを保存する必要があります。  
オリジナルのプリセット・バンクを残しておきたい場合には、常に新しい名前を付けてバンクを保存するようにしてください。

## グローバル

### ECS

ECSと呼ばれる外部MIDIコントローラ・セットアップ・ファイルをロード/セーブできます。  
この設定はグローバルですので、いったん設定されるとすべてのプリセットで共用されます。



右ボタン (MacではCommand+クリック) メニューを使用して「Latch MIDI」を実行することで、MIDIコントローラにRP-Delayのコントロールの1つをラッチすることができます。

同様にMIDIコントロールをアンラッチしたり、すべてのMIDIコントロールをクリアすることも可能です。

<i>Load ECS</i>	ECSセットアップを保存しているフォルダが開きます。 RP-Delayのインストーラは、ECSと呼ばれるフォルダをインストールし、「.ECS」ファイルをロードします。
<i>Save ECS</i>	MIDIセットアップをセーブします。 これは「.ECS」ファイルとして保存されます。
<i>Clear Midi</i>	RP-Delay用の全てのMIDI設定をクリアします。 最初からやり直したいときに便利です。

### ? (クイック・マニュアル)

? ボタンを押すと、デフォルトのウェブブラウザでオンラインの英語版Quick Manual (クイック・マニュアル) が起動します。

注記：このマニュアルの起動には、インターネット接続の必要はありません。

## Main Output controls (メイン・アウトプット・コントロール)

<i>dry/wet</i>	RP-Verbのドライ/ウェット・ミックスを調整します。
<i>bypass</i>	RP-Verbのエフェクト全範囲をバイパスします。
<i>reset</i>	リバーブ音を停止します。ソング停止後に残ったリバーブ音を強制的に停止します。
<i>HQ mode</i>	高品質モードでリバーブを出力することができます。 このモードはより多くのCPUパワーを使用しますが、HQ Modeがオフに設定されていても、高音質を維持することが可能です。

## [ コントロール ]

RP-VERBは、各パラメータを調整するためにコントローラ・ノブとボタンを使用します。各コントロールの上にマウスを移動すると、コントローラ名とその値が、PRESETセクションのDATA表示スクリーンに表示されます。



### ノブ

ノブ上を左クリックしたまま上下に動かすことでアマウントを調整することができます。アマウントはDATA表示スクリーンで確認できます。

シフトを押したまま上下に動かすと、アマウントを微調整することができ、Ctrl+クリック(MacではCommand+クリック)で、アマウントはデフォルト値に設定されます。

ボタンには、次の2つの種類があります。

**On / Off ボタン**                      これらのボタンをクリックすると、ボタンはオンとオフの間で切り替わります。この例がOscillator(オシレーター)トラックボタンです。

**Menu ボタン**                              これらのボタンを左クリックすると、ポップアップメニューが表示され、ユーザーはこのコントロールの値を選択できます。

### 右クリック

各コントロールの上で右クリック(Macではcontrol+クリック)すると、MIDI/ヘルプメニューが表示され、コントロール名、現在のアマウント、そしてこのコントロールがどのMIDIにラッチしているのが表示されます。

また、以下を行うこともできます。

●**デフォルトに設定** (右クリック/Macではcontrol+クリック)  
コントロールをデフォルト値に設定します。

●**MIDIにラッチ** (右クリック/Macではcontrol+クリック)  
コントロールを、受信された次のMIDIコントロールにラッチします。  
例えば、MIDIエクスプレッションにOsc1ボリュームをラッチするには、Osc1ボリューム・ノブを右クリックし、Latch to Midi (MIDIにラッチ) を実行してから、ラッチしたいMIDIエクスプレッション・コントロールを手で動かします。  
これで、画面のOsc1ボリューム・ノブも一緒に動いているはずですが。

これらのアドレス指定されたMIDIコントローラのアマウントはグローバルなので、ホストの全てのプリセットとアクティブなRP-VERBに対して有効です。

●**MIDIをアンラッチ** (右クリック/Macではcontrol+クリック)  
任意のRP-VERBパラメータをMIDIコントロールからアンラッチします。

●**MIDIをクリア** (右クリック/Macではcontrol+クリック)  
全てのMIDIラッチをクリアします。

注記：バック・パネルに、**ECS**と呼ばれているMIDIラッチ情報のファイルをセーブ/ロードできるコマンドがあります。

## コンピュータ・キーボード

バック・パネルの「Computer Keyboard Up / Down」をオンにしておけば、コンピュータ・キーボードを使用して、現在のプリセットを切り変えることができます。

Up Arrow                      前のプリセット  
Down Arrow                    次のプリセット

## [ 登録・更新・サポート ]

### レジストレーション

製品アクティベートやアップデートファイルの取得のために、製品付属のシリアルナンバーを用いてご登録ください。

### アップデート

お使いの製品の最新バージョンは、Rob Papenウェブサイトダウンロードできます。

- ・初めてwww.robpapen.comにアクセスした場合には、最初にここでアカウントを作成してください。
- ・登録フォームに入力し、ホームページの左側からログインします。
- ・「Your Details」を選択し、ソフトウェア登録ページに移動します。
- ・ドロップダウン・メニューから、登録を希望する製品とバージョン番号を選択してください。次にシリアル／アクティベーション・コードを入力し、右側にあるフロッピーディスクのアイコンをクリックし、リストにお使いの製品を追加してください。
- ・これで、お使いの製品は登録され、右側の欄のダウンロード・リンクをクリックするだけで最新のバージョンが手に入ります。  
製品についてのニュースレターを購読することも忘れないようにしてください。

### サポート

RP-VERBのインストールまたは使用法についてご質問がある場合には、FAQをご覧くださいか、ディリгентのサポートチーム（[www.dirigent.jp/support](http://www.dirigent.jp/support)）にご連絡ください。